

能登半島地震から2年 ～家庭の備えと避難方法の再確認～

令和6年1月1日に発生した能登半島地震から、2年が経過しました。大きな災害はいつ、どこで起きてもおかしくありません。だからこそ、私たち一人ひとりが危機感を風化させることなく、日頃から備えをしておくことが大切です。家庭での食料や水の備蓄、非常用持ち出し袋の準備、家具の転倒防止など、大切な家族やご自身の命を守るため、基本的な備えや防災対策を改めて確認しておきましょう。

津波からの避難については、地震発生後は道路の損壊が心配され、緊急車両等の通行の妨げとなるため、原則として車を使わず、徒歩で避難をお願いします。また、田辺市では、学校や公民館などを避難場所等に指定していますので、避難経路を事前に確認し、日頃から家族と避難方法について話し合っておきましょう。なお、田辺市役所本庁舎は津波一時避難場所です。状況が落ち着いた後には近くの避難所へ移動していただくことになります。

日頃の備えは、いざという時に自分や家族を守る力になり、地域の安全は、皆さん一人ひとりの行動から生まれます。この機会に、ぜひご家庭の防災対策を見直し、安心して暮らせるまちづくりに一緒に取り組んでいきましょう。

【問合せ】 防災まちづくり課 [電話] 0739-26-9976

少人数で、ゆっくり学べる！ スマホの使い方教室

公民館の無料講座で
スマホの使い方を
楽しく学びましょう♪

【会場】 稲成公民館 2階 研修室（稲成地域以外の方も参加できます）

【日時・内容】 2月13日(金) 午前10時～(1時間程度)

・スマホ基本編Ⅱ（初心者には基本操作からの説明もできます）

※申し込み状況によっては講座内容が変更となる場合があります。

※講座中にご自身のスマホで通信した際の通信料は自己負担となります。

【定員等】 6人（先着順）

【申込方法】 下記の申込先へ、氏名・住所・電話番号・スマホの機種(わかれば)をご連絡ください。

【申込・問合せ】

稲成公民館(生涯学習課)

電話 0739-26-4908



西部公民館だより

令和8年2月号

未来へつながる道
田辺市

【発行】西部公民館

【館長】藤堂 素子 【主事】小倉 拓

【事務所】田辺市東山一丁目5番1号(本庁舎5階)

【TEL】26-4908 【FAX】24-8323

【館区の人口と世帯数】(令和7年12月末現在)

4,623人(男2,118人・女2,505人) 2,717世帯

「二十歳を祝う式典」が開催されました

1月11日(日)、紀南文化会館にて「二十歳を祝う式典」が開催され、499名(対象者573名)の方々が参加されました。

当日は、田辺シティブラスによる演奏、梅ジュースでの乾杯、中学校からの応援メッセージビデオの上映などがあり、最後に全員で記念撮影を行いました。

また、意見発表では二十歳を代表して、田辺中学校の卒業生である谷本すばるさんが、「大学で地域福祉を学ぶ立場から、将来は地元で福祉に関わる仕事に就き、高齢化や少子化、若者の人口流出、つながりの希薄化といった課題に対し、『自覚者が責任者』であることを胸に刻み、その思いを迷わず行動に移していきたい。」という目標を語ってくれました。

なお、併せて「二十歳の門出応援事業」として、田辺市の地域産品(登録された地域産品の中から一つを選べる冊子)を贈り、二十歳の門出を応援しました。





田辺第三小学校「清心自立」1月号

平成29年度卒業生の先輩におきて

成人の日に

遅くなりましたが(発行日の都合上…)、

新年、明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、本校の教育活動につきまして、御支援・御協力を賜り、誠にありがとうございました。学校にも元気な子供たちの姿が戻り、令和7年度のまとめとなる3学期がスタートしました。「一年の計は元旦にあり」と言われるように、今年目標を立てている児童も多いと思います。目標が達成できるように頑張ってください。

さて、先日の成人の日にあたって、田辺市では1月11日に『令和7年度二十歳を祝う式典』が開催されました。そして、本校にてある心温まる出来事がありました。

式典の前日、二十歳という大きな節目を迎えた卒業生の代表の方が、久しぶりに母校の門をくぐったのです。代表の方の目的は、小学校卒業時に当時の教室で書き残し校長室に保管していた「二十歳の自分への手紙」を受け取ることでした。とても素敵な瞬間に関わらせていただきました。

大切に保管されていたその手紙には、当時の等身大の悩みや、未来への純粋な希望が綴られていたことでしょう。

卒業しても、母校は皆さんの味方です。その手紙が、大人としての第一歩を踏み出す皆さんの背中を優しく押してくれることを願っています。

また、学校は単に知識を学ぶ場所ではなく、人生の土台を作り、いつでも戻ってこられる「心のふるさと」でありたいと改めて強く感じた次第です。

二十歳を迎えられた卒業生の皆様、おめでとうございます。

「成人の日に」

谷川俊太郎

人間とは常に人間になりつつある存在だ
かつて教えられたその言葉が
しこりのように胸の奥に残っている

成人とは人に成ること もしそうなら
私たちはみな日々成人の日を
生きている 完全な人間はどこにも
いない 人間とは何かを知りつくして
いる者もない だからみな問いかける
のだ 人間とはいったい何かを
そしてみな答えているのだ その
問いに 毎日のささやかな行動で

人は人を傷つける 人は人を慰める
人は人を恐れ 人は人を求める
子どもとおとなの区別がどこにあるのか
子どもは生まれでたときから小さな
おとなは一生大きな子ども

どんな美しい記念の晴れ着も
どんな華やかなお祝いの花束も
それだけではきみをおとなにはしてくれない

他人のうちに自分と同じ美しさを
みとめ 自分のうちに他人と同じ醜さを
みとめ

でき上がったどんな権威にも
しぼられず 流れ動く多数の意見に
まどわされず

とらわれぬ子どもの魂で
いまあるものを組み直しつくりかえる

それこそがおとなへの始まり
永遠に終わらないおとなへの
出発点

人間が人間になりつづけるための
苦しみと喜びの方法論だ



「自主・自律・連帯」2月号 ～まとめの3学期～

大寒の候、地域・保護者の皆さま方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。生徒達は、1学期、2学期と心身ともに着実に成長しました。自分では成長の具合を実感できない人もいるかもしれませんが、三段跳びに例えるなら、1学期にホップ、2学期にステップと、確実に前進しています。残されたのは、ジャンプです。1年生は2年生へ、2年生は3年生へ、3年生は希望の進路へ向かって、最後のジャンプをし、しっかり着地できる力をつけるのが3学期です。令和8年スタートの今、自分のことをよく考えて、次のステージにジャンプし、しっかり着地できる準備をしてもらいたいものです。「冬来りなば、春遠からじ」という言葉があります。苦勞の先には、きっと良いことが待っています。つまり、3学期は、しんどさに負けず自分を磨き、4月から夢や希望を持ってスタートする力をつける期間としていきます。

一日一日を大切に、学年の総仕上げを行っていきます。

◆令和7年度田辺西牟婁中学総体 駅伝の部

12月20日(土)、上富田町市ノ瀬で、駅伝大会が行われました。本校の代表選手が駅伝の部とマラソンの部に出場し、それぞれ大健闘しました。

●女子駅伝の部 2位

1区 上森心順(2年)・2区 田中優菜(3年)・3区 下浦弥華(3年)・4区 泉果凜(2年)・5区 山本さくら(3年)

●男子駅伝の部 3位

1区 三栖條(3年)・2区 高垣良月(3年)・3区 竹中開音(3年)・4区 橋本莉乙(3年)・5区 阪本皇生(2年)・6区 高垣秀月(3年)

●女子マラソンの部

4位 田中水濤(2年)・5位 武田悠以(3年)・6位 畑口千乃(2年)

●男子マラソンの部

6位 皆瀬大翔(1年)

◆アンサンブルコンテスト(吹奏楽部)

12月25日(木)、紀南文化会館で田辺地区アンサンブルコンテストが行われました。5チームが、各部門で素晴らしい演奏を披露しました。また、木管六重奏で、県アンサンブルコンテスト(1/18)に出場しました。

●木管六重奏(金賞)【県コンテスト出場】

桐本結愛(2年)・釣本優月羽(2年)・楠本莉菜(2年)・津葉井桜希(1年)・川寄梨夢(1年)・室井万緒(1年)

●金管五重奏(金賞)

水本穂夏美(2年)・松本由衣里(2年)・畑林琴葉(2年)・漁崎迪也(2年)・中西優渚(2年)

●打楽器三重奏(金賞)

細尾愛奈(2年)・岡本蒼彩(1年)・堀本真凧(1年)

●木管五重奏(銀賞)

楠本莉菜(2年)・宮本歩音(1年)・堀本真凧(1年)・阪本きい(1年)・田中良慈(1年)

●金管六重奏(銀賞)

中野三詩郎(1年)・山内優輝(1年)・小山杏奈(1年)・楠本奏楽(1年)・中谷結月(1年)・濱田和奏(1年)

※先月号に掲載した陸上競技大会[男子]4×100mリレーの順位は、7位ではなく8位でした。お詫びして訂正いたします。